



開魂

江別市立角山小学校
学校便り
第8号

平成27年10月28日発行

後期スタート! ～実りの多いものにするために

校長 今井 正樹

初雪がついに江別にも降りました。合わせて朝晩の冷え込みも一段と身にしみるようになってきました。保護者の皆さまには、子どもたちの健康管理の方、宜しく願いいたします。今、学校では、今週末に迫った学習発表会に向けての練習が佳境に入り、完成度を増すように一生懸命に取り組んでいます。当日は、保護者・地域の皆さまに、子どもたちの元気のよい踊りや美しい歌声を披露し、感動や元気をお伝えしたいと思っております。是非、ご来校・ご観覧ください、子どもたちへの励ましの拍手もいただくと幸いです。

さて、10月13日より、後期が始まりました。後期は、学習面でも子どもたち一人一人の実りの多いものにしていきたいと考えております。行事や授業研究をはじめ、家庭学習や読書活動などの充実にも力を入れていきたいと思っております。

先日、学校予算で購入した書籍が60冊（一部）届きました。この書籍は、夏休み前に子どもたちの要望を基にして選んだ書籍と情報図書館司書さんのお薦めの書籍、先生方が選んだ学習に役立つ書籍などです。子どもたちは、自分たちの選んだ本を手にとってとてもうれしそうにしていました。読書は、昔から心の糧ともいわれています。本を読むことによって知識や言葉を学び、表現力や創造力を豊かにし、感性（心）を育てるからです。また、読書には心のストレスを解消する効果もあるそうです。（下記）

－イギリスのサセックス大学のストレス解消についての研究では、読書、音楽視聴、1杯のコーヒー、テレビゲーム、散歩、それぞれのストレス解消効果を、心拍数などをもとに検証しました。その結果、読書は68%、音楽視聴は61%、コーヒーは54%、散歩は42%、テレビゲームは21%のストレス軽減効果が見られ、読書が最も高いストレス解消効果が得られることがわかりました。また、静かなところで読書を行えば、わずか6分間でストレス解消効果が得られ、即効性があることもわかったのです。－

本校では、数年前より毎朝10分間の「朝読書」を行っています。朝の澄み切った静寂の中で、落ち着いて自分の好きな本をじっくりと読んでいます。子どもたちの普段の学習や落ち着きを見ると、大なり小なり確実に効果があるように思えます。最近、「家読（うちどく）」の推進という言葉をよく耳にします。家庭での「読書時間の確保」のことです。秋の夜長をテレビやゲームでなく「読書」で過ごすこともよいのではないのでしょうか。

◆入賞おめでとう！

- 北海道青少年育成協会会長賞【絵画の部】…5年 川口谷 歩さん
- 税を考える小学生の習字展 佳作 …6年 及川 鈴実さん